

令和 2 年食中毒発生状況の概要について

令和 3 年 6 月 8 日

厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課

1. 発生状況（事件数, 患者数, 死者数）

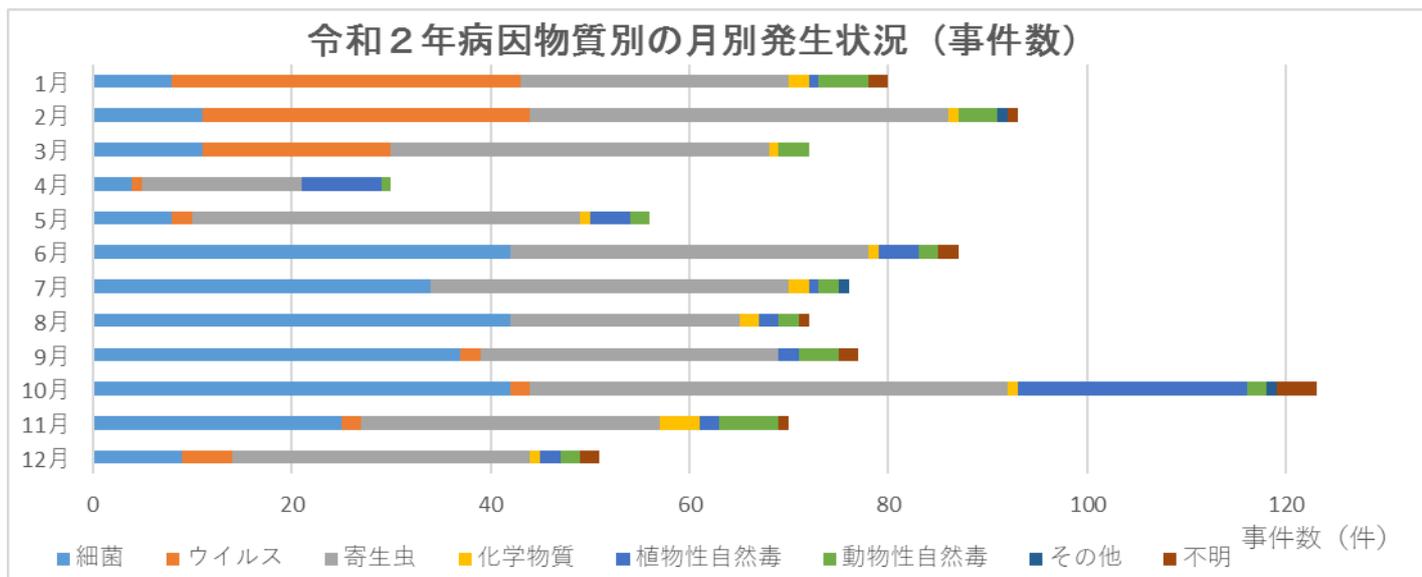
○令和 2 年に国内で発生した食中毒事件数は 887 件（対前年-174 件）、患者数 14,613 人（対前年+1,595 人）、死者数 3 人（前年比-1 人）であった。

○そのうち、患者数 2 人以上事例は、452 件（対前年-237 件）、患者数 14,178 人（対前年+1,532 人）であり、全体の事件数の 51.0%、全体の患者数の 97.0%を占めていた。

○患者 500 人以上の食中毒は 3 件発生している。（前年は 0 件）。

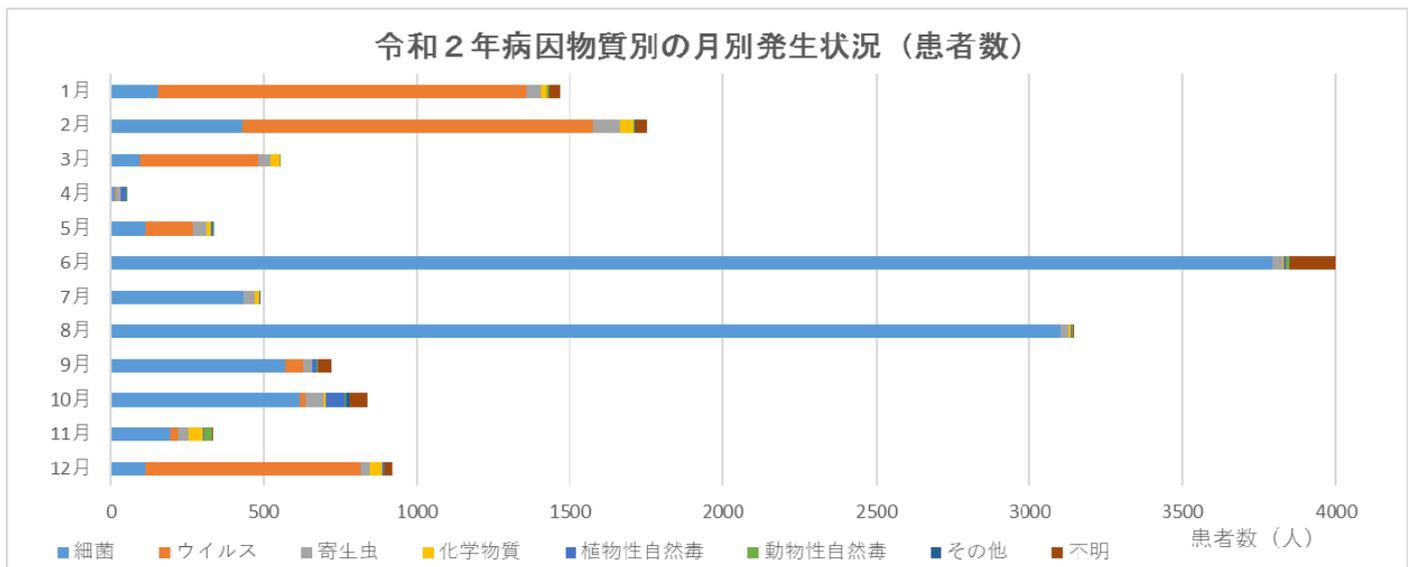
2. 月別発生状況

食中毒事件の発生が最も多かった月は、10 月の 123 件（13.9%）で、次いで 2 月の 93 件（10.5%）、6 月の 87 件（9.8%）の順であった。患者数では、6 月の 4,003 人（27.4%）、8 月の 3,145（21.5%）、2 月の 1,751 人（12.0%）の順で多かった。



	R2											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
細菌	8	11	11	4	8	42	34	42	37	42	25	9
ウイルス	35	33	19	1	2	0	0	0	2	2	2	5
寄生虫	27	42	38	16	39	36	36	23	30	48	30	30
化学物質	2	1	1	0	1	1	2	2	0	1	4	1
植物性自然毒	1	0	0	8	4	4	1	2	2	23	2	2
動物性自然毒	5	4	3	1	2	2	2	2	4	2	6	2
その他	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
不明	2	1	0	0	0	2	0	1	2	4	1	2

図 1 : 令和 2 年月別発生状況（事件数）



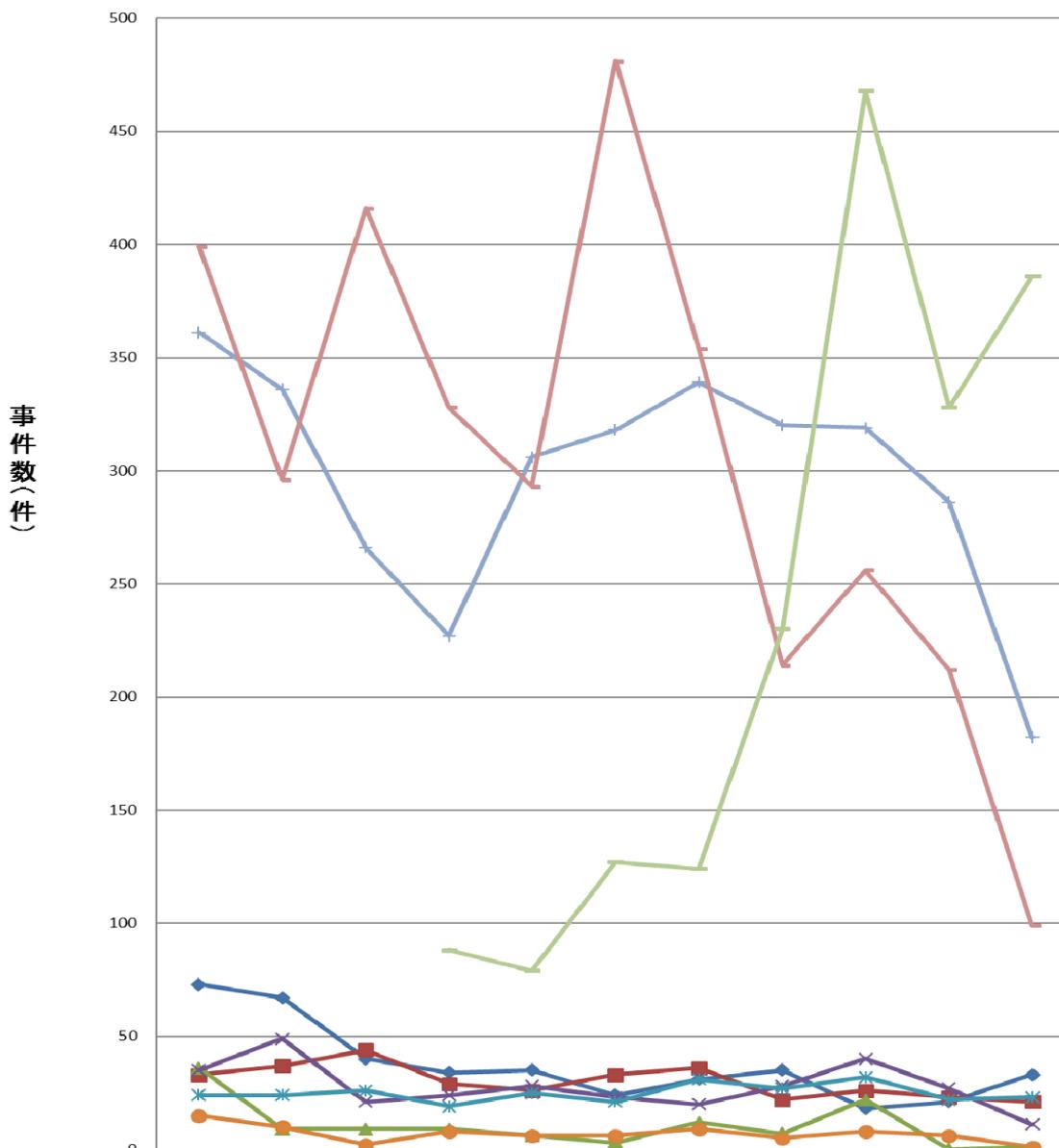
	R2											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
細菌	154	430	94	12	113	3792	434	3103	570	618	195	117
ウイルス	1205	1143	388	6	156	0	0	0	58	19	28	698
寄生虫	46	88	40	16	44	37	36	25	31	59	31	31
化学物質	19	46	30	0	15	2	14	7	0	8	51	42
植物性自然毒	1	0	0	18	7	9	2	3	16	63	3	5
動物性自然毒	9	5	3	1	2	8	3	3	4	2	22	3
その他	0	3	0	0	0	0	3	0	0	13	0	0
不明	33	36	0	0	0	155	0	4	41	57	2	23

図2：令和2年月別発生状況（患者数）

### 3. 病因物質別発生状況

- 病因物質別の事件数を見ると、アニサキス（386件、43.5%）、カンピロバクター・ジェジュニ/コリ（182件、20.5%）、ノロウイルス（99件、11.2%）の順が多かった。また、病因物質別の患者数は、病原大腸菌（6,314人、43.2%）、ノロウイルス（3,660人、25.0%）、ウエルシュ菌（1,288人、8.8%）の順が多かった（図3、4）。
- そのうち、患者数2人以上の事例の病因物質別の事件数を見ると、カンピロバクター・ジェジュニ/コリ（168件、37.2%）、ノロウイルス（99件、21.9%）、サルモネラ属菌（32件、7.1%）の順が多かった。また、患者数2人以上の事例の病因物質別の患者数は、病原大腸菌（6,314人、44.5%）、ノロウイルス（3,660人、25.8%）、ウエルシュ菌（1,288人、9.1%）の順が多かった。
- 腸管出血性大腸菌による食中毒は、事件数5件（0.6%）、患者数30人（0.2%）、死者0人であった。
- 病因物質別発生状況の年次別推移では、ノロウイルスとカンピロバクターにおいて事件数及び患者数共に高い値で推移している。
- 平成25年1月より寄生虫（クドア、サルコシスティス、アニサキス、その他の寄生虫）についても食中毒事件票に病因物質種別として追加した。それぞれの病因物質による事件数と患者数は、クドアが9件88人、アニサキスが386件396人、サルコシスティスの発生はなかった。

全体の食中毒事件数の年次推移



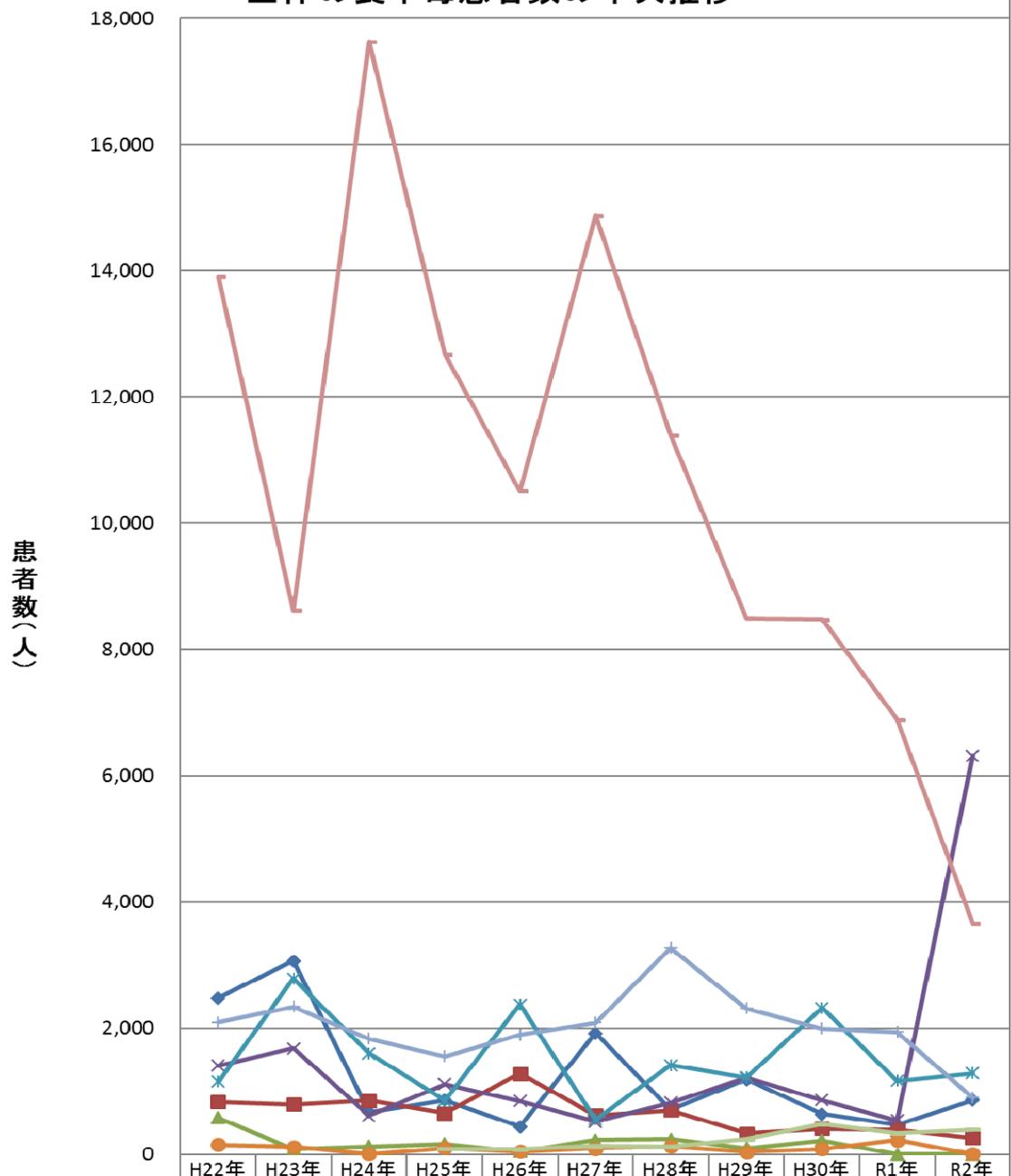
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
◆サルモネラ属菌	73	67	40	34	35	24	31	35	18	21	33
■ぶどう球菌	33	37	44	29	26	33	36	22	26	23	21
▲腸炎ビブリオ	36	9	9	9	6	3	12	7	22	0	1
✕病原大腸菌*	35	49	21	24	28	23	20	28	40	27	11
✧ウエルシュ菌	24	24	26	19	25	21	31	27	32	22	23
●セレウス菌	15	10	2	8	6	6	9	5	8	6	1
▲カンピロバクター	361	336	266	227	306	318	339	320	319	286	182
■ノロウイルス	399	296	416	328	293	481	354	214	256	212	99
▲アニサキス				88	79	127	124	230	468	328	386

<※腸管出血性大腸菌を含む>

<平成 25 年よりアニサキスは食中毒統計において個別に集計されている。>

図 3：平成 22～令和 2 年食中毒事件数推移

### 全体の食中毒患者数の年次推移



	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
● サルモネラ属菌	2,476	3,068	670	861	440	1,918	704	1,183	640	476	861
■ ぶどう球菌	836	792	854	654	1,277	619	698	336	405	393	260
▲ 腸炎ビブリオ	579	87	124	164	47	224	240	97	222	0	3
✕ 病原大腸菌*	1,406	1,681	611	1,112	847	518	821	1,214	860	538	6,314
✧ ウエルシュ菌	1,151	2,784	1,597	854	2,373	551	1,411	1,220	2,319	1,166	1,288
● セレウス菌	155	122	4	98	44	95	125	38	86	229	4
✦ カンピロバクター	2,092	2,341	1,834	1,551	1,893	2,089	3,272	2,315	1,995	1,937	901
— ノロウイルス	13,904	8,619	17,632	12,672	10,506	14,876	11,397	8,496	8,475	6,889	3,660
— アニサキス				89	79	133	126	242	478	336	396

<※腸管出血性大腸菌を含む>

<平成 25 年よりアニサキスは食中毒統計において個別に集計されている。>

図 4：平成 22～令和 2 年食中毒患者数推移

#### 4. 原因食品・施設別発生状況

- 原因食品・食事の判明したものは、事件数 716 件(80.7%)、患者数 14,285 人(97.8%)であった。
- 原因食品別の事件数を見ると、魚介類(299 件、33.7%)、複合調理食品(45 件、5.1%)、野菜及びその加工品(43 件、4.8%)の順で多かった(「その他」を除く。以下この項において同じ。)。また、原因食品別の患者数は、複合調理食品(4,403 人、30.1%)、次いで魚介類(711 人、4.9%)、肉類及びその加工品(682 人、4.7%)の順で多かった。
- そのうち、患者数 2 人以上の事例における原因食品別の事件数を見ると、魚介類(45 件、10.0%)、複合調理食品(43 件、9.5%)、野菜及びその加工品(29 件、6.4%)の順で多かった。また、患者数 2 人以上事例における原因食品別の患者数は、複合調理食品(4,401 人、31.0%)、肉類及びその加工品(682 人、4.8%)、魚介類(457 人、3.2%)の順で多かった。
- 原因施設の判明したものは、事件数 687 件(77.5%)、患者数 14,171 人(97.0%)であった。
- 原因施設別の事件数を見ると、飲食店(375 件、42.3%)に次いで家庭(166 件、18.7%)、販売店(49 件、5.5%)の順で多かった。また、原因施設別の患者数は、飲食店(6,955 人、47.6%)、仕出屋(4,310 人、29.5%)、事業場(984 人、6.7%)の順で多かった。
- そのうち、患者数 2 人以上の事例における原因施設別の事件数を見ると、飲食店(275 件、60.8%)、家庭(42 件、9.3%)、事業場(31 件、6.9%)の順で多かった。また患者数 2 人以上の事例における原因施設別の患者数を見ると、飲食店(6,855 人、48.3%)、仕出屋(4,310 人、30.4%)、事業場(984 人、6.9%)の順で多かった。

#### 5. その他

令和 2 年食中毒発生状況の詳細等については、厚生労働省医薬・生活衛生局ホームページ「食中毒に関する情報」

([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html)) で公開している。